

目次

【原著】

共分散構造分析による「お薬手帳」に関する入院患者の意識と行動の分析285

入院患者を対象に「お薬手帳」に関するアンケート調査を行い、「お薬手帳」に対する患者の意識が行動にどのように影響するか共分散構造分析を用いて分析した。

飯島 久子 山内 慶太 高橋 武則

慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科

【報告】

医療安全支援センターの現況について296

医療に関する苦情や相談に対応し助言や情報提供を行う医療安全支援センター設置の経緯から現在の取り組み、寄せられた相談事例等について報告する。

安藤 志保 高橋 知子 水木 麻衣子 原田 賢治 児玉 安司

東京大学大学院医学系研究科 医療安全管理学講座

医学生を中心とした男女共同参画に関するアンケート結果306

—医師のワークライフバランスへの考察—

医学生・医師がワークライフバランスについていかに考え何を求めているかを、ACP（米国内科学会）日本支部 Women's Committee がアンケート調査した。

遠藤 香織^{1) 2)} 杉原 正子^{1) 3)} 宇都宮 雅子^{1) 4)} 友成 暁子^{1) 5)} 新井 桂子^{1) 6)}

矢野 晴美^{1) 7)} 小原 まみ子^{1) 8)} 瀧野 敏子^{1) 9)} 檜山 桂子^{1) 10)}

1) ACP 日本支部 Women's Committee

2) 湘南鎌倉総合病院（現在の所属：北海道大学整形外科）

3) 山梨大学医学部（現在の所属：早稲田大学医療人類学研究所）

4) 亀田総合病院 リウマチ・膠原病内科

5) 亀田総合病院 消化器内科

6) あらいクリニック

7) 自治医科大学臨床感染症センター 感染症科

8) 亀田総合病院 腎臓高血圧内科

9) ラ・クオール本町クリニック /NPO 法人イージェイネット

10) 広島大学原爆放射線医科学研究所 放射線医療開発研究分野（現在の所属：医療法人社団福原医院）

地方中小病院における外来化学療法時の安全確保への取り組み315

—抗がん剤によるショック・血管外漏出に対する安全対策マニュアルと

レスキューセットの整備

アナフィラキシーショックと血管外漏出の対応に特化したレスキューセットと対応マニュアルを予め整備しておくことは、地方中小病院での外来化学療法の安全提供に必要である。

岸本 真¹⁾ 砂田 和幸¹⁾ 中村 裕子²⁾ 松枝 文子²⁾ 猪俣 千代子²⁾ 三阪 高春³⁾

1) 霧島市立医師会医療センター 薬剤部

2) 霧島市立医師会医療センター 看護部

3) 霧島市立医師会医療センター 診療部

【医療安全全国共同行動から】

医療安全全国共同行動の現状と課題

エラーや有害事象が起きても大事に至らせないために、
有害事象に対する緊急対応手技を浸透させよう 327

上原 鳴夫¹⁾ 川嶋 隆久²⁾

1) 東北大学大学院医学系研究科 国際保健学分野

2) 神戸大学大学院医学研究科災害・救急医学

【連載】

看護師のための文章ノート 第8回（最終回） 発表する 331

井部 俊子

聖路加看護大学 学長

【資料】

院内緊急対応マニュアル

1. リドカイン局所麻酔時に発生したアナフィラキシー・ショック 336

中 敏夫

和歌山県立医科大学救急集中治療部 救命救急センター

2. 空気塞栓症 340

川嶋 隆久

神戸大学大学院医学系研究科・災害救急医学分野

3. 血管迷走神経反射性失神 344

入江 仁 児玉 貴光

聖マリアンナ医科大学 救急医学

4. 採血時の末梢神経損傷 347

清水 操 児玉 貴光

聖マリアンナ医科大学 救急医学

5. 前立腺癌術後リハビリ中に発生したショック 352

中 敏夫

和歌山県立医科大学救急集中治療部 救命救急センター

医療の質改善取り組みの報告のための SQUIRE ガイドライン 説明と詳細 357

The SQUIRE (Standards for QQuality Improvement Reporting Excellence) guidelines
for quality improvement reporting: explanation and elaboration

医療の質・安全学会 会則 389

医療の質・安全学会 役員および評議員 393

医療の質・安全学会 入会のご案内 395

「医療の質・安全学会誌」投稿規程 398

「医療の質・安全学会誌」執筆要項 402

「医療の質・安全学会誌」定期購読のご案内 407

編集後記 409